

100 世界遺産の旅 (86)

3 都探訪

目的があったわけでないが、南米の北西部に位置する3カ国の首都を探訪した。エクアドルの首都キト、コロンビアの首都ボゴタ、ボリビアの首都ラ・パスの3都である。海拔0mのガラパゴス諸島から、標高4000mのボリビアのポトシ銀山へ一気に飛行すれば、高山病を患うのは必定である。そこで、3都を訪れ、減圧しながら体を慣らすことにした。航空便のワンチケットに途中下車(機)を組み入れた2泊3日の行程であった。

3首都 海拔			
訪問順	海拔	都市	国
↓	0m	ガラパゴス諸島	エクアドル
	2850m	首都キト	
	2640m	首都ボゴタ	コロンビア
	3650m	首都ラ・パス	ボリビア
	4000m	ポトシ銀山	
	3700m	ウユニ塩湖	
(参考) 富士山 3776m			

ガラパゴスの空港を発ち、エクアドル第2の都市グアヤキル空港を経由し、夕方、首都キトに到着した。キトは、インカ帝国の北都である。キト空港から市街地までは、タクシーで急峻な谷と山を越えて、約1時間で辿り着いた。よくもこんな険しい高地に北都を建設したものだと感心した。早速ホテルに荷物を預け、独立広場へ向った。水曜日の夕方にも関わらず、多くの人々が、散策を楽しんでいた。



首都キト、エクアドル、2018年2月

早朝、キト空港を発ち、午前11時にコロンビアの首都ボゴタに到着した。次のフライトは午後10時なので、その間、ボゴタの街へ出てみた。ボゴタは広々とした高原で、その端のモセラータ山の麓に中心街があった。16世紀半ばまでチブチャ族の都で、

黄金の装身具を身につけていたことから、エル・ドラード(黄金郷)の伝説を生み出した。空港近くのバスターミナルから市街へ出たが、バスは専用ラインの走行でスムーズであった。終点は、ボゴタ大学の正門前で、そこから南に繁華街があり、カテドラルまで歩いてみると、ここも多くの人出であった。



首都ボゴタ、コロンビア、2018年2月

ボリビアのラ・パスは、世界で最も高地の首都である。街はすり鉢状で、中心街は、鉢の底にあたる。少し坂道を登ると息が切れる街で、ロープウェイ網が、日常の交通手段として張り巡らされ、予想以上に観光の目玉として脚光を浴びていた。



首都ラ・パス、ボリビア、2018年2月

旧教の宗主国スペインが、インカ帝国やアステカ王国を侵略するに当たり、その統治者を抹殺し、宮殿や神殿を完璧までに破壊した。スペイン人の入植後、キリスト教に統一され、現地人と混ざり合いながら新国家を作り上げた。よって国民は「人種のるつぼ」の状態にある。一方、新教のイギリスは、現地の統治者を利用して植民地を運営し、宗教についても寛大であった。現地人との混ざり合いは少なかったので、「人種のサラダボール」の方向へ進んだ。

中南米では、強盗、殺人こそ多かれ、宗教テロはない。一方のイギリスでは、宗教テロが頻繁に起きている。結果として旧教、新教による植民地化は、皮肉にも、異なった社会を造りあげたようだ。